

農業技術センター普及指導部作物関係情報

タイトル：水稻の初期生育状況（6月24日現在）について

発信日：平成28年6月28日

1 内容

- ・ キヌヒカリ
6月上旬植の生育について、平年値(平成18～27年までの過去10年平均)と比べ、草丈は「同等」、茎数は「少ない」、葉色は「同等」となっています。
- ・ はるみ
6月上旬植の生育について、キヌヒカリと比べ、草丈は「やや短い」、茎数は「やや多い」、葉色は「同等」となっています。
- ・ さとじまん
6月上旬植の生育について、平年値と比べ、草丈は「同等」、茎数は「少ない」、葉色は「同等」となっています。

2 留意事項

今後の水稻の作業については、次の点に留意して実施して下さい。

(1) 気象

気象庁が6月23日に発表した1か月予報は、気温は「平年よりも高く」、降水量は「平年並みか多い」、日照時間は「ほぼ平年並み」となっています。

(2) 水管理

本年の水稻の生育は茎数が少ない傾向です。苗が活着してからは、中干しまで分けつを促進するために浅水（概ね2～3cm）で管理を行いましょう。

(3) 中干し

中干しは、過剰分けつの抑制と田面を固め倒伏を予防するために実施します。最高分けつ期ごろから5～7日程度水を切り、土壌表面に軽いひび割れができる程度に干します。

(4) 雑草防除

本年は、昨年同様に県内全域で藻類の発生が目立っています。藻類が多発すると、地温の低下等により水稻の生育が抑制されることがあるので、一時的に水を落としたり、藻類に登録がある除草剤（モゲトン粒剤）を施用します。

ヒエ、コナギ、オモダカ、クログワイが残草した場合、中期剤・後期剤を使用上の注意に従って施用します。

*中期剤：フォローアップ1キロ粒剤、ワイドアタックD1キロ粒剤、ワイドアタックSC等
後期剤：バサグラン粒剤・液剤（ヒエは除く）、クリンチャーバスME液剤等



コナギ



オモダカ



クログワイ



ヒエ

(5) 病虫害防除

病虫害の発生源となる余り苗は水田に放置せず早急に除去し、水田周辺雑草についても除草管理を徹底しましょう。

・縞葉枯病

本年度の縞葉枯病の発生は、平年よりも多い予想ですので、今後の情報等に注意しましょう（病虫害情報（第3号）6月予報 参照）。

・スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）

スクミリンゴガイの発生がみられ、一部地域で食害をおこしています。水田や水路に貝を発見したら捕殺し、ピンク色の卵（卵塊）は潰しましょう。スクミリンゴガイの密度を減らすために、水口には6～9mm目合いの網を設置するとともに、登録薬剤の散布を行いましょう。



スクミリンゴガイ

スクミリンゴガイの卵塊

【参考】

表 農業技術センター（平塚市）での過去10年平均値

作期	品種名	中干し時期	穂ばらみ期	出穂期
5 月 下 旬 植	キヌヒカリ	7月7日頃	7月19日～8月6日頃	8月6日
	さとじまん	7月14日頃	7月26日～8月13日頃	8月13日
6 月 上 旬 植	キヌヒカリ	7月10日頃	7月22日～8月9日頃	8月9日
	はるみ*	7月11日頃	7月23日～8月10日頃	8月10日
	さとじまん	7月17日頃	7月30日～8月16日頃	8月16日
6 月 中 旬 植	キヌヒカリ	7月17日頃	7月30日～8月16日頃	8月16日
	はるみ**	7月17日頃	7月30日～8月16日頃	8月16日
	さとじまん	7月22日頃	8月3日～8月21日頃	8月21日

・ 穂ばらみ期は、出穂期約18日前～出穂期までの期間。水稻が最も水分を必要とする時期であるため、水田の水を十分に保つようにする。

・ 5月下旬植については、平成14～18年（5年平均）のデータに基づく。

*；平成20～24、26、27年のデータに基づく。**；平成21年～24、27年のデータに基づく。

連絡先

農業技術センター普及指導部作物加工課

平塚市上吉沢1617

TEL：0463-58-0333 内線381～384

FAX：0463-58-4254